

定期地方大会

代議員46人決定

=11月2日~3日 南部富士見ハイツで開催=

小林 利明(盛岡機械技術セ) 湯沢 古賀 義弘(盛岡建築技術セ) 熊谷 一昭(盛岡土木技術セ) 曽我 弘志(北上電力メセ) 奈良岡 勝(盛岡土木技青派)

△盛岡施設分会 小野 信弥(盛岡運輸区) 工藤 正人(盛岡運輸区) △盛岡運輸区分会 佐々木研司(零石駅) 折戸 俊幸(出向・テレセ) 館洞 孝一(出向・IGR) △盛岡支部・二八人

△盛岡駅連合分会 佐々木 駿(盛岡車両セ) △花輪線地域分会 今井 憲俊(出向・仙建工業) △北上駅連合分会 照井 幸男(盛岡運輸区北派) △北上施設分会 佐々木喜一(北上幹保技術セ) 畠山 孝北(北上保線技術セ) △青森支部・一八人

△盛岡運転分会 白沢 俊明(盛岡車両セ) △盛岡電気分会 楠口 知行(盛岡電力メセ) △盛岡貨物分会 工藤 道哉(盛岡保全区) △一戸地域分会 佐々木 力出向・仙建工業) △釜石地域分会 小澤万寿男(釜石線営業所) △青森支部・一八人

△青森運転分会 鈴木 孝夫(一ノ関運輸) △一関施設分会 小野寺勝則(出向・ニオイ) △一関電気分会 千葉 俊一(一関信通メセ) △氣仙沼駅連合分会 熊谷 泰幸(盛駅) △大湊地域分会 佐々木 功茂(市駅) △横浜 土田 公治(東青森駅) △八戸運輸分会 松尾 昭二(三沢駅) △大湊地域分会 横浜 幸徳(出向・ニオイ) △八戸運輸分会 前田 素行(八戸運輸区) △八戸工務分会 佐々木正衛(八戸幹保技術セ) 中尻 英治(八戸保線技術セ) 松橋 隆(出向・東洋機械) △八戸貨物分会 野田 茂志(出向・仙建工業)

第六回定期地方大会の各分会代議員選挙が過日実施され、大会代議員が別記の通り決定した。定期地方大会は、一一月二日、三日の二日間、南部富士見ハイツで開かれる。



3分会交流会には、28人が参加した

九月一六日、国労会館四階に於いて、盛岡地区協内三分会交流集会が二八人の参加で開催されました。

開会挨拶後、支部佐々木副委員長からは、地本オルグでの全国大会・東日本大会の報告と激励の挨拶。地区協中堤

盛岡地区協3分会交流会

職場実態で多くの発言者

早朝は一人体制で大変(盛岡駅改札)。現地から現場まで移動するのに時間がかかる。倒木・落石などは復旧順序もある(土技セ)。新幹線の部品故障、壊れないのが前提なので部品はなく特注になる。(車両センタ)。等、多くの質問意見が出され、発言者の熱弁の中、予定時間が大幅に経過していきました。

最初の交流会ではありますがあ、多くの職場の状況、分会の活動内容が話され、分会間の相互理解がなされた交流会でした。

一六時近くから第二部の懇親会に入り、お酒がさらに冗舌にし、お互いの思っていること、悩んでいることなどをさらけ出し、組合員間の相互理解が図られました。時間も

あつという間に過ぎ、一人ひとりが感想を述べ、終了となりました。組合員からは「よかったです。こういう交流会を一年だけではなく、年に何回かやつてほしい」という声がたくさんありました。

参加された組合員の皆さん

は、その後も場所を変え交流を深めています。

（一〇月三日発行N〇3・盛岡地区協便より転載）

（この度は、故植田孝昭氏

（六月八日逝去、四八歳）ご

遺族への義援金カンパの呼び

かけに、早速ご協力戴き誠に

有難うございました。公私ど

もに多忙中の中、色々と物入

りの時節にもかかわらずご賛

同戴きましたことに、私共は

胸を熱くいたしております。

各分会から寄せられました

義援金（一〇二万円）は、九

月二八日に佐藤分会长と私が

代表して遺族へ確実にお渡し

いたしました。奥様から「皆

様も厳しい生活をされている

中で、私たち遺族への御心遣

いに恐縮いたします」と感謝

の言葉が述べられました。

ご逝去から三ヶ月が過ぎ、徐々にではありますがご遺族

の皆様には、落ち着きが戻ら

れたご様子で、奥様は仕事に、

三人のお子さんは学業にそれ

ぞ励まれております。しかし

し、一家の柱をなくされた悲

しみは決して失せることはな

く、新たな試練が待ち受け

いるかもしれません。私たち

は、ご遺族のためにさまざま

な支えにならなければならな

いと思っております。

最後になりますが、義援金

を送る取り組みに際しては、

現職の組合員のみならず、O

Bの皆様や多くの他社組の組

合員のご協力を戴いたことを

合わせて報告し、お礼といた

します。

（この度は、故植田孝昭氏

（六月八日逝去、四八歳）ご

遺族への義援金カンパの呼び

かけに、早速ご協力戴き誠に

有難うございました。公私ど

もに多忙中の中、色々と物入

りの時節にもかかわらずご賛

同戴きましたことに、私共は

胸を熱くいたしております。

各分会から寄せられました

義援金（一〇二万円）は、九

月二八日に佐藤分会长と私が

代表して遺族へ確実にお渡し

いたしました。奥様から「皆

様も厳しい生活をされている

中で、私たち遺族への御心遣

いに恐縮いたします」と感謝

の言葉が述べられました。

ご逝去から三ヶ月が過ぎ、徐々にではありますがご遺族

の皆様には、落ち着きが戻ら

れたご様子で、奥様は仕事に、

三人のお子さんは学業にそれ

ぞ励まれております。しかし

し、一家の柱をなくされた悲

しみは決して失せることはな

く、新たな試練が待ち受け

いるかもしれません。私たち

は、ご遺族のためにさまざま

な支えにならなければならな

いと思っております。

最後になりますが、義援金

を送る取り組みに際しては、

現職の組合員のみならず、O

Bの皆様や多くの他社組の組

合員のご協力を戴いたことを

合わせて報告し、お礼といた

します。

（この度は、故植田孝昭氏

（六月八日逝去、四八歳）ご

遺族への義援金カンパの呼び

かけに、早速ご協力戴き誠に

有難うございました。公私ど

もに多忙中の中、色々と物入

りの時節にもかかわらずご賛

同戴きましたことに、私共は

胸を熱くいたしております。

各分会から寄せられました

義援金（一〇二万円）は、九

月二八日に佐藤分会长と私が

代表して遺族へ確実にお渡し

いたしました。奥様から「皆

様も厳しい生活をされている

中で、私たち遺族への御心遣

いに恐縮いたします」と感謝

の言葉が述べられました。

ご逝去から三ヶ月が過ぎ、徐々にではありますがご遺族

の皆様には、落ち着きが戻ら

れたご様子で、奥様は仕事に、

三人のお子さんは学業にそれ

ぞ励まれております。しかし

し、一家の柱をなくされた悲

しみは決して失せることはな

く、新たな試練が待ち受け

いるかもしれません。私たち

は、ご遺族のためにさまざま

な支えにならなければならな

いと思っております。

最後になりますが、義援金

を送る取り組みに際しては、

現職の組合員のみならず、O

Bの皆様や多くの他社組の組

合員のご協力を戴いたことを

合わせて報告し、お礼といた

します。

（この度は、故植田孝昭氏

（六月八日逝去、四八歳）ご

遺族への義援金カンパの呼び

かけに、早速ご協力戴き誠に

有難うございました。公私ど

もに多忙中の中、色々と物入

りの時節にもかかわらずご賛

同戴きましたことに、私共は

胸を熱くいたしております。

各分会から寄せられました

義援金（一〇二万円）は、九

月二八日に佐藤分会长と私が

代表して遺族へ確実にお渡し

いたしました。奥様から「皆

様も厳しい生活をされている

中で、私たち遺族への御心遣

いに恐縮いたします」と感謝

の言葉が述べられました。

ご逝去から三ヶ月が過ぎ、徐々にではありますがご遺族

の皆様には、落ち着きが戻ら

れたご様子で、奥様は仕事に、

三人のお子さんは学業にそれ

ぞ励まれております。しかし

し、一家の柱をなくされた悲

しみは決して失せることはな

く、新たな試練が待ち受け

いるかもしれません。私たち

は、ご遺族のためにさまざま

な支えにならなければならな

いと思っております。

最後になりますが、義援金

を送る取り組みに際しては、

現職の組合員のみならず、O

Bの皆様や多くの他社組の組

合員のご協力を戴いたことを

合わせて報告し、お礼といた

します。

（この度は、故植田孝昭氏

（六月八日逝去、四八歳）ご

遺族への義援金カンパの呼び

かけに、早速ご協力戴き誠に

有難うございました。公私ど

もに多忙中の中、色々と物入

りの時節にもかかわらずご賛

同戴きましたことに、私共は